

溪和会江別病院 令和7年度病院指標

6. 診療科別主要手術別患者数等(診療科別上位5位まで)

<定義>

- ・症例数の多い手術件数を各診療科別に集計しています。項目はKコードに対する患者数、平均在院日数、平均術前日数、平均術後日数、転院率、平均年齢、患者用パスの有無を掲載しています。
- ・10件未満の手術を表記してはいけない規則のため「-」としています。
- ・手術術式の点数表コード(Kコード)による集計とし、輸血や創傷処理などの軽微な手術、加算等は除外としています。
- ・転院率については、転院患者数(退院先が他の病院・診療所への転院)/各手術における退院患者数としています。

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	66	2.92	5.23	1.52%	66.95	○
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	45	1.33	2.58	4.44%	69.62	○
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	22	0.86	3.68	0.00%	56.09	○
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	22	2.50	13.64	4.55%	75.23	○
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	20	4.10	11.20	0.00%	74.05	—

<解説>

胆嚢炎、胆嚢結石症に対し、腹腔鏡を使用した胆嚢摘出術が最も多く行われています。腹腔鏡手術が上位ではありますが、開腹手術も対応しています。

人工透析内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術 初回	64	15.39	36.73	4.69%	73.91	○
K616-42	経皮的シャント拡張術・血栓除去術 1の実施後3月以内に実施する場合	19	2.32	4.53	0.00%	76.26	○
K6121イ	末梢動静脈瘻造設術 内シャント造設術 単純なもの	13	5.23	8.69	0.00%	70.85	○
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

<解説>

人工透析を行う際に使用するシャントの狭窄や閉塞に対して行う経皮的シャント拡張術・血栓除去術が最も多く行われています。
人工透析を行う際に使用するシャントの作成も対応しています。

脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	29	1.00	16.86	13.79%	85.28	○
K178-4	経皮的脳血栓回収術	16	2.31	25.25	31.25%	84.44	—
K1781	脳血管内手術 1箇所	11	2.00	22.55	36.36%	69.64	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

<解説>

高齢者の転倒などによる頭部打撲後の慢性硬膜下血腫に対する手術が最も多く行われています。次いで脳梗塞に対する経皮的脳血栓回収術が上位を占めています。

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	27	3.19	25.52	40.74%	82.56	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	21	5.00	32.86	57.14%	85.90	—
K0732	関節内骨折観血的手術 胸鎖、手、足	15	3.53	12.87	6.67%	74.07	○
K0731	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝、肘	13	2.23	26.46	30.77%	78.15	—
—	—	—	—	—	—	—	—

<解説>

大腿骨骨折に対する手術が最も多く行われています。次いで足関節や股関節の骨折に対する手術が多く行われています。

消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2cm未満	196	0.24	1.44	0.00%	70.57	○
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	70	0.86	11.01	4.29%	81.80	○
K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	56	1.27	8.70	0.00%	76.57	○
K654	内視鏡的消化管止血術	24	0.54	9.46	4.17%	75.21	—
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術	17	0.00	7.24	0.00%	79.65	○

<解説>

大腸ポリープに対する内視鏡手術が最も多く、主に1泊2日の入院治療を行っています。次いで、胆管の狭窄や総胆管結石症に対するステント留置術や乳頭切開術が多く行われています。

早期の胃癌に対し、身体の負担が少ない内視鏡手術も行っています。

循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術 不安定狭心症に対するもの	19	0.32	9.63	5.26%	74.00	—
K5972	ペースメーカー移植術 経静脈電極の場合	18	3.06	11.83	5.56%	81.33	○
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	13	1.15	2.54	74.00%	73.31	○
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

<解説>

心筋梗塞や狭心症に対する冠動脈ステント留置術が最も多く行われています。次いで不整脈に対するペースメーカー移植術が多く行われています。
 下肢の静脈血栓症に対するカテーテル治療も行っています。

呼吸器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	13	0.92	15.62	0.00%	74.38	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

<解説>

悪性腫瘍に対して化学療法を行う際に使用する植込型カテーテル設置術が最も多く行われています。